

平田出張所便り

第27号(4月20日版)

斐伊川堤防一斉点検

新年度早々の4月12日(火)に、平田出張所管内の斐伊川本川及び宍道湖西岸の堤防の一斉点検が行われました。一斉点検は、出水期(6月26日～10月20日)を控え草丈が短く点検がし易いこの時期に毎年実施しているもので、国交省OBの防災エキスパートの方々の協力のもと、出雲河川事務所の技術系職員が総出で当たりました。また、今年度は、県や出雲市・斐川町の職員の方の参加も得て、総勢65人のスタッフが10班に分かれて実施しました。

点検の結果、堤防法面や護岸等に大小約230箇所の問題箇所が確認され、大半は軽微なひび割れや沈下等でした。このうち緊急性の高いものについては出水期までに補修を行うこととし、その他の箇所は、適宜補修等の対策を行っていくこととしています。



ブロック積擁壁の沈下の有無等確認状況



堤防法面の崩落確認状況



ブロック積擁壁の変形(突出)状況

～ 担当者からのひとこと ～

本川両岸と宍道湖岸を合わせると対象延長が約70km近くになり、徒歩による点検は実
に大変ですが、出水期を前に非常に重要な点検であり、この結果を堤防の保全と安全安心
な川づくりに活かしていくことと、継続実施することが重要と考えます。